

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21019
課題名	外来における転倒予防に対する3年間の取り組み
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2021年 11月30日
研究の対象	2019年に実施した患者・付添者対象の車椅子使用方法説明書の活用と理解状況の聞き取り調査に回答した外来患者さんと、2020年に実施した補助具を使用中の患者と付添者対象の転倒予防への意識と行動の聞き取り調査アンケートに回答した外来患者さん。
利用する試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報 (詳細： ) <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名： ) <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1) 2019年に実施した患者・付添者対象の車椅子使用方法説明書の活用と理解状況の聞き取り調査 2) 2020年に実施した補助具を使用中の患者と付添者対象の転倒予防への意識と行動の聞き取り調査
研究の意義、目的	外来における3年間の転倒要因の分析と介入を振り返り、患者・付添者の転倒予防に対する意識向上と行動変容を促す介入による効果と課題を明らかにする。
研究の方法	1. 研究の種類・デザイン：後ろ向き観察研究 2. 対象と方法 1) 2018年に実施済み 看護師対象の転倒予防についての意識調査。 2) 2019年に実施済み 患者・付添者対象の車椅子使用方法説明書の活用と理解状況の聞き取り。 3) 2020年に実施済み 補助具を使用中の患者と付添者対象の転倒予防への意識と行動の聞き取り調査内容。 2018年には1)の調査結果から、転倒要因分析を行い、2019年は車椅子の正しい使用方法を啓発することで患者・付添者の転倒予防への意識向上及び行動変容を促す取り組みを実施し、2)の調査を行った。2020年は補助具(歩行器やシルバーカー)の正しい使用方法や外来での転倒危険個所を映像化した転倒予防DVDを作成し、患者教育に使用し、3)の調査を行った。本研究では、上記調査および3年間の取組みに加え、外来での転倒発生状況を含めて分析する。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

聞き取り調査の内容が研究に用いられることについてご了承いただけない場合には、研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加されなくても不利益が生じることは一切ありません。

紹介先および連絡先：

旭川医科大学病院 看護部 外来ナースステーション

看護師 浅谷麻美 (研究責任者)

〒078-8510

旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

電話 (直通) 0166-69-3623